

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防活動維持管理事業（災害救助対応用組立トイレ拡充整備）	広島県廿日市市	267,850	263,250	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防活動維持管理事業（災害救助対応用組立トイレ拡充整備）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		廿日市市
交付金事業実施場所		廿日市市串戸
交付金事業の概要		第6次廿日市市総合計画の重点施策のうち、「安全で安心なまちをつくる」、「いつまでも住み続けられるまちをつくる」を実現するため、資機材等を整備することにより消防・救急体制の充実を図ります。 具体的には、近年多発する土砂風水害等に対応するため、当本部においても災害救助活動に対する備えについて更なる強化が求められているところであり、特に災害活動が長期にわたる場合や救助活動を行う場所が複数箇所にあたる場合などトイレ環境の改善が必要であることから、持ち運びが可能な組立トイレ（自動ラップトイレ）を整備するとともに既存の組立トイレに係る備品を拡充することで、トイレが近くにないことによる救助隊員の精神的・身体的負担が軽減されるほか、救助隊員が現場周辺のトイレを借用するといった負担も解消され、より迅速な救助活動につながり安全で安心なまちづくりに役立ってます。

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第6次廿日市市総合計画（平成28年度～令和7年度） 【方向性1】くらしを守る 【重点施策】安全で安心なまちをつくる 【施策方針】災害に対する備えの充実 ○消防関係施設（資機材・団車庫等）の整備 【重点施策】いつまでも住み続けられるまちをつくる 【施策方針】救急医療・地域医療の推進 ○応急手当の普及啓発を継続的に実施する
--	--

事業開始年度	令和３年度			事業終了（予定）年度		令和３年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和４年度		
	災害救助体制の構築	まちづくり市民アンケート調査における「消防・救急体制の充実」項目の満足度	成果実績	位			
			目標値	位	1		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	組立トイレの拡充整備後に一定の使用期間を経て、成果を確認するため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価						
	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和３年度		
	災害救助対応用組立トイレの拡充整備	活動実績	式	1			
		活動見込	式	1			
		達成度	%	100.0			
交付金事業の総事業費等		令和３年度				備 考	
総事業費		267,850					
交付金充当額		263,250					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		263,250					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
組み立てトイレ一式		随意契約(少額)		株式会社クマヒラセキュリティ(広島市)		267,850	
		計				267,850	
交付金事業の担当課室		廿日市市消防本部総務課					
交付金事業の評価課室		廿日市市消防本部総務課					

(様式 7)

電源立地地域対策交付金の運用について（通達） 12. の 規定による交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

令和4年8月23日

中国経済産業局長 青木 朋人 殿

住所 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号

氏名 廿日市市長 松本 太郎

令和3年11月30日付け20211020中国第4号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金に係る交付金事業の成果目標及び成果実績について、別紙のとおり報告します。
（注）用紙の大きさは、日本産業規格に定めるA4とし、横位置とすること。
別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書	
措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防活動維持管理事業（災害救助対応用組立トイレ拡充整備）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	広島県廿日市市
交付金事業の成果目標	災害救助体制の構築
交付金事業の成果指標	まちづくり市民アンケート調査における「消防・救急体制の充実」項目の満足度
評価年度	令和4年度
成果実績	1位
目標値	1位
達成度（%）	-
評価年度の設定理由	組立トイレの拡充整備後に一定の使用期間を経て、成果を確認するため。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	緊急消防援助隊での県外派遣等消防活動が長期化する際に不可欠な資機材である、組立トイレ（自動ラップトイレ）の拡充整備が行えたことで、隊員の衛生管理面での精神的・身体的ストレスが軽減され、救助活動により専念できるようになりました。 また、当該資機材整備後に災害派遣等、長期的な活動を要する災害は発生していませんが、試運用ではトイレの組立が容易にできることや処理方法が衛生的であることを確認し、今後の迅速な救助活動につながることが期待されます。消防・救急体制の充実を図れたことが安全で安心なまちづくりにつながり、成果目標を達成することができました。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

（備考）事業ごとに作成すること。
（注）用紙の大きさは、日本産業規格に定めるA4とし、横位置とすること。